

灯油配送の 常識を変える

ゼロスペック株式会社 代表取締役社長
ただみつお
多田 満朗さん

家庭の灯油タンクのキャップにセンサーを付けて灯油の残量を自動計測し、給油のタイミングを見極め、効率的に配送できる仕組みを開発。灯油を配送する企業と市民の生活を技術でサポートする

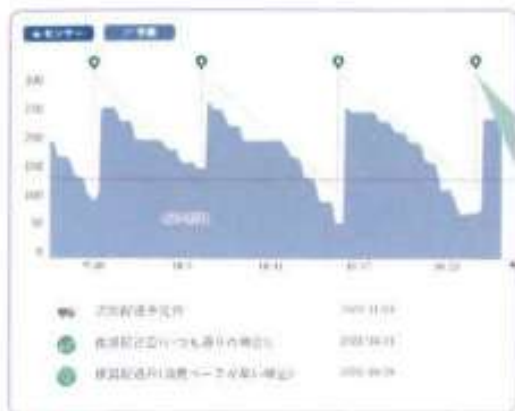


私は、以前勤めていた企業で、より正しい判断は数字やデータによってできることを学びました。ある日、ホームタンクに灯油を配送している方を見て、配送の仕組みが気になり調べてみると、タンク内の灯油が減っているかどうかにかかわらず、定期的に配送している場合が多いことが分かったんです。その時に、灯油の残量をデータで管理

できれば配送効率上がるのではと考え、「スマートオイルセンサー」を開発しました。

2015年に創業し、現在、37の都道府県で、4万個以上のセンサーが灯油の配送企業を通じて設置されています。配送企業からは「1回の配送で給油量が30%以上増加した」「配送人員を1日平均3・3人から2・2人に減らせた」という報告もいただいていますね。配送時に車から出る二酸化炭素の排出量も減らせますし、人手不足の解消にも貢献しています。

今後は高齢者の見守りや防犯への活用といったさらなる付加価値を付けて、個人向けの販売も進めていく予定です。



▲センサーで取得した情報を基に、給油するタイミングを自動的に知らせる配送管理システム「GO NOW」も開発